

2021年1月21日
株式会社東陽テクニカ

「2020年 IEC 活動推進会議(IEC-APC)議長賞」を受賞

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下当社)は、一般財団法人 日本規格協会 IEC 活動推進会議より、当社社員の中村 哲也が 2020 年の「IEC 活動推進会議(IEC-APC)議長賞」を受賞したことをお知らせいたします。中村の受賞は、長年にわたる EMC^{※1} の国際規格の策定と、国内の EMC 規格標準化への貢献の功績が認められたものです。当社は今後も IEC-APC での活動を通じて、国際的な規格の標準化と、日本の国際競争力強化に貢献してまいります。

※1 ElectroMagnetic Compatibility：電磁環境両立性や電磁両立性と呼ばれる。EMC 試験では、電子機器が放出する電気的ノイズが他の機器へ影響を与えないこと、外部からの電気的ノイズにより電子機器の正常動作が妨害されないことという二つの特性を測定し、評価する。

< 受賞に結びついた活動内容 >

中村は、EMC における高周波の連続波免疫試験(電子機器の、電磁波耐性の性能を測る試験)において有識者としてその専門知識を生かし、高周波現象を扱う IEC/SC77B 国内委員会^{※2}の委員として 2003 年より 12 年、2015 年以降は幹事として IEC における標準化活動に貢献しています。さらに、規格の問題点、課題を、工業会を通じた共同実験などで実証し、そのデータをもとに国際会議に提出して、日本の意見の反映と規格の合理性を追求し実行しています。

※2 IEC(International Electrotechnical Commission：国際電気標準会議)は電気、電子分野の世界的な規格を定める国際標準化機関で、SC(Sub Committee)は規格ごとに分かれる分科委員会。SC77B は EMC に関する規格を扱っており、SC77B 国内委員会は SC77B の扱う規格について国内の取りまとめを行っている。

< IEC-APC とは >

「IEC-APC(IEC Activities Promotion Committee of Japan：IEC 活動推進会議)」は、IEC に対する日本の貢献を目指し設立された組織です。IEC による国際的な標準化事業に積極的に参画し、各国標準化機関との連携を図りながら、グローバルな視点による標準化推進のため、各種支援事業、IEC 上層委員会への提案、国際標準化に関する情報提供、調査・研究活動などを行っています。「IEC 活動推進会議(IEC-APC)議長賞」は、これらの活動について顕著な貢献をした個人またはグループに対して授与されるものです。



受賞者の中村 哲也

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは1953年の創立以来、世界最先端の計測機器の輸入販売を行ってきました。現在の事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンスなど多岐にわたり、独自の計測技術を搭載した自社製品の開発にも力を入れ、国内外へ事業を拡大しています。「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、5G(第5世代移動通信システム)の普及や自動運転車開発なども支える最新ソリューションを提供することで、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課

TEL : 03-3279-0771(代表)

E-mail : marketing_pr@toyo.co.jp

Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。